

令和6年度 事務事業マネジメントシート

事務事業N o.		1-	11
事業名	災害対策経費	会計 一般	款 9 項 1 目 4
政 策	8 安全と安心を守るために	課名	総務課
施 策	8-1 消防・防災対策の充実	係名	防災対策室

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的（対象がどのような状態になっているか）	防災訓練を通じ、住民の防災意識の高揚を図り、災害発生時において速やかに住民自身が自助の行動をとれるようにする。
事業内容	防災訓練を通じ、住民の防災意識の高揚を図り、災害発生時において速やかに住民自身が自助の行動をとれるようにする。 自治会・自主防災組織や各種団体へ、防災訓練の支援や防災講話を行っている。災害対策用備蓄物資を計画的に進めている。 また、対象世帯（65歳以上のみの世帯）からの申請により、家具転倒防止器具の設置を行い、災害時における生命の保護に努める。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1	地域防災訓練の実施件数	6	20	19	件		15
	2	地区防災計画策定地区数	1	1	1	地区		3
	3	防災対策として食料、飲料の備蓄をしている住民の割合	—	—	37.1	%		↑
	4							
	5							
			令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（予算）	
全体事業費（千円）			22,586		11,047		23,059	
財源内訳	うち一般財源		15,530		6,386		8,025	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善＜※主管課長記入＞

（1）事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充（事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき）					

（2）事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	災害時の非常用給水車の確保R7 拠点防災倉庫建設用地（文化センター） 地域防災計画、備蓄計画など自治会配備品も含めた見直し 自治会への地区防災計画の推進 県防災衛星系無線設備更新R7	③取組の課題	総合防災訓練の内容（要支援者を交えた訓練の企画） 役場全体の災害時対応手順等を詳細に整備（各役割ごとマニュアル・手順書）
②R6年度に実施した取り組み	指定避難所の拡充（文化センター、共同福祉施設、笹尾コミュニティセンター）	④今後の改善計画	避難所備蓄倉庫の拡充R7 県防災衛星系無線設備更新R7 拠点防災倉庫建設用地（文化センター）